

各 位

会社名 ダイヤ通商株式会社
 代表者名 代表取締役 阿部 匡
 (JASDAQ・コード: 7462)
 問合せ先 管理部課長 樋泉 裕一
 電話 03-5977-1561

特別利益と特別損失の発生及び業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

この度、当社において下記のとおり、特別利益と特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、本日開示いたします「平成26年3月期 決算短信[日本基準] (非連結)」と平成26年2月19日に公表しました業績予想について、下記のとおり差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生及び内容

昨年末の平成25年12月31日に閉鎖しました小豆沢油槽所を売却することにより、当該資産(土地、建物他)の売却額4億40百万円から、諸経費、帳簿価格を差し引き、4億10百万円の特別利益の計上と平成26年2月19日に開示いたしましたが、その後、土地再評価差額金取崩額1億38百万円及び法人税等調整額90百万円を計上いたしました結果、固定資産売却益は1億79百万円を計上するに至りました。

2. 特別損失の発生及び内容

減損損失として仙台の営業拠点1箇所の建物帳簿価格1億16百万円、退職給付費用では石油業厚生年金基金の解散による損失の見積額87百万円を計上いたしました。

貸倒引当金繰入額では、平成26年3月期第2四半期において売掛金の滞留の債権額の50%計上した残額の55百万円を新たに計上し、その他の滞留額と合わせて通年で計1億13百万円を計上いたしました。

特別修繕引当金繰入額では、巢鴨ダイヤビルの耐震補強工事の一部と立体駐車場のオーバーホールの費用を合わせた72百万円を計上いたしました。

3. 業績予想と実績値の差異について

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,551	△182	△192	10	1.32
今回発表値(B)	5,535	△209	△228	△388	△47.25
増減額(B-A)	△16	△27	△36	△398	
増減率(%)	△0.2	—	—	—	
前期実績(平成25年3月期)	6,375	12	△14	△42	△5.57

4. 業績予想の差異の理由

売上高については、ほぼ予想通り推移したものの、営業費において、自社ビルの修繕引当金繰入額28百万円を計上したことにより営業損失が2億9百万円となり、営業外費用において、借入金一括返済諸費用、割引手形の保証債務費用等の計8百万円を計上した為、経常損失2億28百万円となりました。

特別損益においては、上記の1と2を主な要因とし、特別利益の計1億80百万円と特別損失の計4億22百万円を計上した結果、当期純損失3億88百万円となりました。

以上